

ひよこ組

厳しい寒さが続き、子どもたちは白い息を吐いたり、冷たい風で頬を赤くしながら、小さな体で季節を感じています。

先月は、オムツ替えの際、自分でズボンに足を入れて履こうとしたりオムツを指差して、おしっこが出たことを知らせてくれたりする姿がみられました。「かして」「あーと」「どーぞ」など、言葉も増えたたくさんの成長が見られました。また、身体を動かして遊ぶことが大好きなひよこ組。保育室では、山型マットや階段マットを上ったり下りたりして楽しんでいます。コンビカーでは、自分の足で蹴って少し前に進めるようになりました。園庭に出ると、手押し車を一生懸命押しながら、探索活動を楽しんでいます。

今月は、かわいい鬼に変身して、豆まきを楽しみたいと思います。

こあら組

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じられる2月となりました。長い年末年始のお休みを家族とゆっくり過ごしたことで、子どもたちの言葉がさらに増えています。友だちと遊ぶ中で「いっしょにやろ」と声をかけたり、玩具を貸してもらったり、「ありがとう」と自然に言える姿が見られるようになりました。また、嫌なことがあると「イヤだよ」「やらない」と、自分の気持ちを言葉で伝えようとする様子から、心の成長も感じられます。

1歳児クラスも後半となり、じゃんけんの真似をするなど、簡単なルールのある遊びにも興味を示しています。園庭では冬ならではの氷に触れて遊び、冷たさを感じながらも大切そうに握りしめて楽しんでいました。

今月は、初めての散歩先として香取神社へ出かけ、いつもとは違う景色の中で、新しい発見や経験を大切にしていきます。

うさぎ組

少し前まで外遊びの際、冬の寒さにびっくりして涙が出てしまい、「おへやがいい」と言う子もいましたが、だんだん寒さにも慣れてきました。元気に走って追いかけてっこをしたり、氷が張ると、「つめたーい」と言いながら触って遊んでいます。

お正月遊びで、ビニール袋にシールを貼って凧を作り、園庭で凧上げをしました。何回も行ううちに、腕を上げながら風を切って走れるようになり、凧も上がるようになりました。

1月より室内では上履きを履いて過ごしています。上履きを履くことを楽しみにしていた子どもたち。張り切って自分で履き、脱ぐ時には揃えて並べています。上履きのご用意、ありがとうございました。

2月も寒さに負けず、元気に過ごしましょう。

年少組

真冬の寒さが続くこの頃、子どもたちの元気な声と笑い声が溢れ、冷たい風にも負けず元気に過ごしています。

子どもたちが作ったお面や三宝を使って、「鬼は外！福は内！」のかけ声とともに鬼に向かって豆まきをします。節分の意味を知ったうえで、心の成長を応援できるような機会にしていきたいと考えています。また、郵便屋さんごっこが始まります。友だちや保育者と手紙のやり取りを通して、文字や数字への興味を育み、手紙が届く嬉しさや、思いを伝える心地よさを体験できるようにしていきます。

寒さや乾燥が気になる時期になりました。感染症、風邪やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。ご家庭でも体調に十分に気をつけていきましょう。

年中組

先日は、参観及び懇談会にご参加いただきありがとうございました。お子さまの成長を感じていただけたかと思います。

今月は、郵便屋さんごっこがあります。相手のことを思いながら手紙を書いたり、手紙をもらう喜びを感じたりしながらやり取りを楽しんでいます。また、看護師から「からだの話」を聞き、自分のからだに興味をもち、健康でいるために大切なことについてみんなで考えていきます。園外へのお散歩も予定しているため、交通ルールの確認をして、友だちと話をしながら歩いたり、冬の自然に触れたりする中で様々なことに気づく時間を大切にしていきたいと思います。

2月下旬には、園内のひな人形を見学し、ひな祭りの由来を知ります。歌や製作を通してひな祭りに触れ、親しみをもてるようにしていきます。

年中組での生活も残り2か月となりました。体調に気を付けながら、元気に過ごしていきましょう。

年長組

先月は、「鬼のお面」へのご協力ありがとうございました。持参した廃材を使い、自分のイメージした鬼を思い思いに仕上げていました。節分の日、一年の健康を願うといった行事の意味を知り、自分で使ったお面を被って豆まきを楽しみます。その経験から豆を投げている動きや遠近を意識し、のびのびと大判の画用紙に表現します。また、郵便屋さんごっこを行います。手紙を書く、届ける体験を通して、文字への関心を深めるとともに、相手を思う気持ちや伝える楽しさを感じられるように育てていきます。

今月は、園生活最後の遠足があります。いちご狩りでは、いちごのなっている様子や摘み方を実際に見て体験します。卒園遠足では、交通ルールや時間、挨拶を意識しながら、さまざまな体験を楽しんでいます。

今年度も残り2か月を切りました。一日一日を大切に、小学生への期待が持てるよう過ごしていきます。

《幼児 2月の目標》

- ◎豆まきを楽しむ 園内での経験をいかし、ご家庭でも、どんな鬼を退治したいか話し合ってみてください。持ち帰るお面や三宝を使って、ご家庭で楽しむのも一つです。
- ◎身の回りのことは自分でやる 以前に比べて、できなかったことができるようになってきていると思います。お子さまが自分でできることは自分でやっていますか。自分で、登降園時に鞆を持つ、おもちゃを片付ける、洋服を着る……日々の積み重ねが大切です。
- ◎時間や時計を意識して過ごす 特に年長は、「過去」「現在」「未来」という概念が理解できるようになってきます。また、決められた時間で行動する就学に向けた練習にもなります。時間を意識すると、先のことに見通しをもてますので、お子さまの安心感にもつながります。

三学期も残り2か月です。今までの《目標》を振り返り、再度確認してみてください。継続することで身に付くことがたくさんあります。そして大事なことは、できたことは見逃さず、しっかりと褒め、自信を持たせてあげることです。